

2004年 3月期

中間決算短信(連結)

2003年 10月 27日

上場会社名 カゴメ株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2811

本社所在都道府県

(URL: http://www.kagome.co.jp)

愛知県

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 喜岡 浩二

問合せ先責任者 役職名 執行役員財務部長

氏名 長井 進 TEL (03) 5623 - 8502

中間決算取締役会開催日 2003年 10月 27日

米国会計基準採用の有無 無

1. 2003年 9月中間期の連結業績(2003年 4月 1日 ~ 2003年 9月 30日)

(百万円未満切捨て)

(1)連結経営成績

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2003年9月中間期	85,102	7.3	3,103	39.1	3,075	39.5
2002年9月中間期	79,285	0.2	5,096	3.9	5,083	6.0
2003年3月期	147,189	3.6	4,630	27.3	4,638	32.3

	中間(当期)純利益		1株当たり中間 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 中間(当期)純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2003年9月中間期	1,792	21.5	23.21	20.14
2002年9月中間期	1,476	39.2	19.11	16.63
2003年3月期	388	74.3	5.03	4.85

(注) 持分法投資損益 2003年 9月中間期 - 百万円 2002年 9月中間期 121百万円 2003年 3月期 99百万円
 期中平均株式数(連結) 2003年 9月中間期 77,240,629 株 2002年 9月中間期 77,247,220 株 2003年 3月期 77,245,129 株
 会計処理の方法の変更 無
 売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
2003年9月中間期	115,891	47,357	40.9	613.12
2002年9月中間期	103,827	46,603	44.9	603.31
2003年3月期	105,469	45,548	43.2	589.69

(注)期末発行済株式数(連結) 2003年 9月中間期 77,240,041 株 2002年 9月中間期 77,246,364 株 2003年 3月期 77,241,070 株

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2003年9月中間期	3,718	2,808	8,626	16,233
2002年9月中間期	4,403	664	773	19,992
2003年3月期	4,393	5,370	1,830	14,140

(4)連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数 8 社 持分法適用非連結子会社数 - 社 持分法適用関連会社数 - 社

(5)連結範囲及び持分法の適用の異動状況

連結(新規) - 社(除外) - 社 持分法(新規) - 社(除外) - 社

2. 2004年 3月期の連結業績予想(2003年 4月 1日 ~ 2004年 3月 31日)

通 期	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
	158,000	4,900	4,700	2,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 32円 37銭

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記業績予想に関連する事項につきましては、連結添付資料の11~12ページをご参照ください。

1. 主要な連結経営指標等の推移

決算年月	2001年9月	2002年9月	2003年9月	2002年3月	2003年3月	2004年3月 予想
会計期間	自 2001年4月 1 日 至 2001年9月30日	自 2002年4月 1 日 至 2002年9月30日	自 2003年4月 1 日 至 2003年9月30日	自 2001年4月 1 日 至 2002年3月31日	自 2002年4月 1 日 至 2003年3月31日	自 2003年4月 1 日 至 2004年3月31日
売上高 (百万円)	79,158	79,285	85,102	142,099	147,189	158,000
売上高伸び率 (%)	5.7	0.2	7.3	5.1	3.6	7.3
営業利益 (百万円)	5,304	5,096	3,103	6,369	4,630	4,900
売上高営業利益率 (%)	6.7	6.4	3.6	4.5	3.1	3.1
経常利益 (百万円)	5,409	5,083	3,075	6,853	4,638	4,700
売上高経常利益率 (%)	6.8	6.4	3.6	4.8	3.2	3.0
税金等調整前中間(当期)純利益 (百万円)	4,284	2,658	3,062	2,850	1,145	4,500
売上高税金等調整前中間(当期)純利益率 (%)	5.4	3.4	3.6	2.0	0.8	2.8
中間(当期)純利益 (百万円)	2,427	1,476	1,792	1,512	388	2,500
売上高中間(当期)純利益率 (%)	3.1	1.9	2.1	1.1	0.3	1.6
1株当たり中間(当期)純利益 (円)	31.42	19.11	23.21	19.58	5.03	32.37
潜在株式調整後1株当たり中間(当期)純利益 (円)	27.17	16.63	20.14	17.30	4.85	
株主資本中間(当期)純利益率 (%)	5.4	3.2	3.9	3.3	0.9	
総資本経常利益率 (%)	5.4	5.0	2.8	7.1	4.5	
1株当たり年間配当金(期末) (円)	-	-	-	10.0	10.0	10.0
配当総額(年間) (百万円)	-	-	-	772	772	772
配当性向 (%)	-	-	-	51.1	198.8	30.9
株主資本配当率 (%)	-	-	-	1.7	1.7	
総資産 (百万円)	106,511	103,827	115,891	98,991	105,469	
株主資本 (百万円)	46,281	46,603	47,357	46,365	45,548	
株主資本比率 (%)	43.5	44.9	40.9	46.8	43.2	
1株当たり株主資本 (円)	599.11	603.31	613.12	600.22	589.69	
中間期末(期末)株価 (円)	1,244	910	933	1,054	860	
株価収益率 (倍)	39.6	47.6	40.2	53.8	171.0	
営業活動によるCF (百万円)	6,669	4,403	3,718	10,875	4,393	
投資活動によるCF (百万円)	4,276	664	2,808	5,444	5,370	
財務活動によるCF (百万円)	770	773	8,626	784	1,830	
現金及び現金同等物の期末残高 (百万円)	13,950	19,992	16,233	16,970	14,140	
フリーCF (百万円)	3,879	2,305	6,710	6,538	606	
1株当たり営業CF (円)	86.3	57.0	48.1	140.8	56.9	
従業員数 (名)	1,547	1,568	1,970	1,520	1,942	1,970
(外、平均臨時雇用者数)	[356]	[358]	[349]	[339]	[416]	
固定投資額 (百万円)	2,782	2,606	2,782	4,597	6,244	5,460
(うち有形固定資産)	[2,478]	[2,506]	[2,632]	[4,153]	[5,420]	[5,100]
減価償却費 (百万円)	1,867	1,851	2,435	3,835	4,186	5,100
(うち有形固定資産)	[1,771]	[1,731]	[2,286]	[3,626]	[3,948]	[4,800]
研究開発費 (百万円)	968	1,001	1,134	2,011	2,169	2,220
広告宣伝費 (百万円)	3,452	2,833	3,030	5,695	5,354	4,300

- (注) 1. 売上高に消費税等は含まれておりません。
2. フリーCF(キャッシュ・フロー) = 営業活動によるCF - 固定資産の取得による支出
3. 1株当たり営業CF = 営業活動によるCF ÷ 期末発行済株式数

2. 企業集団の状況

当社の企業集団は、当社、子会社10社及び関連会社2社で構成され、食品の製造、仕入及び販売を主な内容としております。

当グループ各社の事業に係る位置付けは、次の通りであります。

[食品関連]

当グループの事業領域は6つの事業に分かれております。

食品事業については当社及び台湾カゴメ(株)、飲料事業については当社、カゴメラビオ(株) (2002年11月買収、2003年3月社名変更) 及び台湾カゴメ(株) (2003年1月より子会社化) が製造販売するほか、東京職域販売(株)及び(株)名古屋サービスが当社から飲料製品を仕入れ、自動販売機により販売しております。

業務用事業については、当社及びKAGOME INC. が製造販売しております。

通販事業、生鮮野菜事業については当社が製造販売をしております。

その他事業については、当社が農業関連資材を仕入販売しているほか、サウンドフーズ(株)がレストラン『籠目屋』を運営しております。

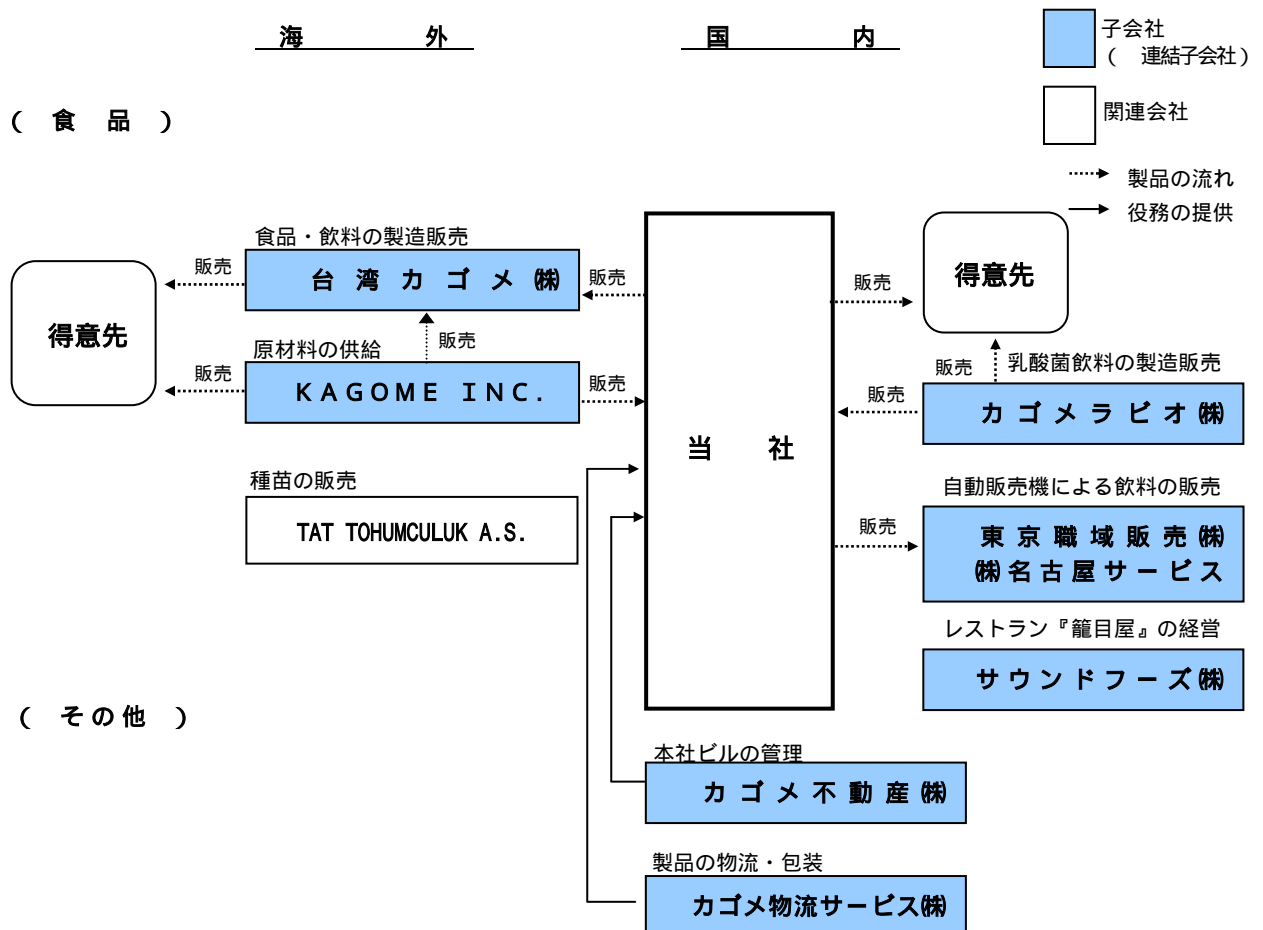
なお、関連会社であるTAT TOHUMCULUK A.S. がトルコ共和国において種苗の販売をしております。

[その他]

物流事業はカゴメ物流サービス(株)が行っております。

不動産事業は、当社及びカゴメ不動産(株)が行っております。

以上述べた事項を事業系統図で示すと、次の通りであります。



3. 関係会社の状況及び業績

名称及び 事業内容	資本金 及び 決算期	議決権 の 所有割合		当中間期 (百万円)	前中間期 (百万円)	増減率 (%)
連結子会社						
カゴメ不動産(株) 不動産業	98百万円 2月	100%	売上高	534	490	+9.0%
			営業利益	146	134	+9.0%
			中間純利益	94	31	+203.5%
			総資産	2,745	2,816	2.5%
			株主資本	1,559	1,387	+12.3%
カゴメ物流サービス(株) 物流業・倉庫業・ 指定自動車整備業	80百万円 2月	100%	売上高	7,143	7,315	2.4%
			営業利益	246	229	+7.5%
			中間純利益	142	213	+166.9%
			総資産	4,134	4,082	+1.3%
			株主資本	1,282	1,055	+21.5%
KAGOME, INC. 食品製造販売業	15百万ドル 12月	100%	売上高	2,293 [19,159千米ドル]	2,276 [17,543千米ドル]	+0.7% [+9.2%]
			営業利益	192 [1,606千米ドル]	58 [449千米ドル]	+229.7% [+257.4%]
			中間純利益	124 [1,040千米ドル]	54 [421千米ドル]	+127.8% [+146.9%]
			総資産	3,244 [27,078千米ドル]	3,444 [28,827千米ドル]	5.8% [6.1%]
			株主資本	2,256 [18,839千米ドル]	2,046 [17,124千米ドル]	+10.3% [+10.0%]
東京職域販売(株) 自動販売機による 食品販売業	88百万円 2月	100%	売上高	975	1,028	5.2%
			営業利益	21	20	+3.0%
			中間純利益	23	18	+27.4%
			総資産	331	390	15.3%
			株主資本	5	12	+143.3%
(株)名古屋サービス 自動販売機による 食品販売業	10百万円 2月	100%	売上高	377	386	2.2%
			営業利益	3	6	54.5%
			中間純利益	2	11	76.2%
			総資産	150	165	9.2%
			株主資本	41	47	12.3%
サウンドフーズ(株) レストラン業	60百万円 2月	100%	売上高	53	50	+7.1%
			営業利益	2	5	+47.6%
			中間純利益	3	7	139.7%
			総資産	77	84	8.4%
			株主資本	10	3	399.7%
カゴメラビオ(株) 食品製造販売業	140百万円 2月	100%	売上高	5,938	-	-
			営業利益	60	-	-
			中間純利益	88	-	-
			総資産	6,711	-	-
			株主資本	1,997	-	-
台湾カゴメ(株) 食品製造販売業	316百万 台湾ドル 12月	50.33%	売上高	1,778 [520百万台湾ドル]	1,998 [534百万台湾ドル]	11.0% [2.7%]
			営業利益	223 [65百万台湾ドル]	371 [99百万台湾ドル]	39.9% [34.2%]
			中間純利益	164 [50百万台湾ドル]	299 [80百万台湾ドル]	45.1% [37.1%]
			総資産	3,138 [906百万台湾ドル]	3,286 [917百万台湾ドル]	4.5% [1.2%]
			株主資本	2,491 [718百万台湾ドル]	2,715 [758百万台湾ドル]	8.3% [5.2%]

4. 経営方針

(1) 経営の基本方針

当社グループは、1999年度に迎えた創業100周年を節目として、更なる成長のために、創業以来、歴代の経営者が信条としてきた経営の精神や社是を見つめ直し、「感謝」「自然」「開かれた企業」の三つを経営のこのころとした企業理念を定めました。1998年度に新しい経営体制でスタートした「新・創業」計画においてはビジョンとして「トマトと野菜カンパニー」を宣言し、2006年度に売上高2,000億円規模の企業集団を目指して、飲料事業においては「野菜飲料を国民健康飲料に育成」、食品事業においては「トマトを21世紀の日本人の旨みだしへ育成」、業務用事業においては「業務用市場におけるトマトと野菜のベストパートナー」という事業ミッションのもと、事業活動を展開してまいりました。そして、2003年度は、子会社であるカゴメラビオ(株)(2002年11月取得の雪印ラビオ(株)を改称)を中核として、乳酸菌事業に本格的に参入し、事業領域を「トマトと野菜と乳酸菌」に拡大しております。

本年度、「新・創業」計画のさらなる進展のために、「トマトと野菜カンパニー」という「ミッションをエネルギーとする経営」から、「カゴメ・ブランド価値経営」～お客様への提供価値を重視する経営～へとステップアップを図りました。

この「カゴメ・ブランド価値経営」の核となる、カゴメが社会やお客様に約束する価値を言い表した言葉が、「自然を、おいしく、楽しく。KAGOME」です。

「自然」とは ……自然の恵みがもつ抗酸化力と免疫力を活用して、食と健康を深く追求すること。

「おいしく」とは ……自然に反する添加物や技術にたよらず、体にやさしいおいしさを実現すること。

「楽しく」とは ……地球環境と体内環境に十分配慮して、食の楽しさの新しい需要を創造すること。

これが、カゴメの約束です。

(2) 利益配分に関する基本方針

当社は、安定した経営基盤の確立と継続を目指すとともに、株主の皆様に対する利益配分を最重要政策の一つと認識して、収益力の強化に努め、安定した配当を継続することを基本方針として考えております。

内部留保金の使途につきましては、財務体質の強化および長期的な視点に立った製造設備投資、情報投資等の資金需要に備えるとともに、将来のさらなる発展のためのブランド投資、研究開発投資に資金を投入していく所存であります。

(3) 中期的な会社の経営戦略

当社グループの「新・創業」計画は、1998年度から2006年度までの9年間(1期3年間で3期)に亘る経営戦略です。企業理念とビジョン、そしてこれらを具現化する3つの戦略である、「事業戦略」「マネジメント戦略」「社会対応戦略」で構成されております。

事業戦略については、飲料、食品、業務用の各事業に、通販、生鮮野菜の新規事業を加え、第1期(1998年度から2000年度)から第2期(2001年度から2003年度)まで、「新しい需要の創造」に取り組み、順調に推移してまいりました。具体的には、飲料事業では、「体内環境正常化」運動を推し進め、カテゴリーリーダーとしての「野菜生活」シリーズが、年間1,600万ケースを超えるまでに成長し、野菜の栄養で健康づくりを支援する会社として評価をいただいております。食品事業では、電子レンジ調理食品の「カゴメデリ」シリーズが年間約3,000万食にまで成長し、「トマトと野菜」のおいしさと、健康、安心を提供しております。業務用事業では、増加する中食・外食市場に対応し業績を伸ばしております。通販事業、生鮮野菜事業も、立上げ期

を経て成長期に入りつつあります。

マネジメント戦略については、まず、営業戦略として「顧客満足の向上をめざした情報提供・提案型営業」を、生産・調達戦略では「良い原料と良い技術の最適組合せによるカゴメ品質の追求、原価管理の強化とコスト削減、国際調達ネットワークの拡充」を推し進めております。業務革新戦略では「ITを活用したナレッジマネジメントによる業務効率の向上」を、そして、人事戦略では「カゴメ目標管理システム」をベースとした適材適所の人材配置を追求しております。

社会対応戦略については、「開かれた企業」の実践として、IR活動の充実をめざし、「10万人のファン株主づくり」を推進しております。カゴメは、「ブランドも株式も、お客様とともにある」企業でありたいと願っております。

(4) 対処すべき課題

2002年度においては、リーディングブランドである野菜飲料市場において、提案力の積極性を欠いた結果、販売促進費が急増し収益力が低下しました。この結果を踏まえ、2003年度は、「自然を、おいしく、楽しく。KAGOME」のもとに、新しい需要創造と利益構造の改革に取り組んでおります。利益構造の改革については、効果的な販売促進費の投入とマネジメント強化、低利益率商品のリストラを含む原価改善、一般管理費などの固定費削減、により低コスト構造を実現します。

事業別には、以下の課題に取り組めます。

飲料事業は、野菜飲料のリーディングブランドとして、継続的に新しい飲用者を開発、併せて効果的な価値訴求により、価格競争を回避し販売促進費の削減を推進いたします。また、カゴメラビオ(株)のプロバイオティクス(腸の中の細菌バランスを改善し、健康に有益な働きをする乳酸菌などの有用微生物)資源と技術の活用により、「野菜の抗酸化力」と「乳酸菌の免疫力」を融合した商品開発を進め、新しい需要創造を行います。

食品事業は、「カゴメデリ」シリーズをはじめとする調理食品群を重要な戦略分野として、売上拡大と、原価低減に努めてまいります。

業務用事業は、食の外部化の加速に伴い拡大する中食・外食市場に対応し、技術力を生かしたカゴメならではの商品で、ユーザーニーズに対応してまいります。

通販事業は、「カゴメ健康直送便」として、通販オリジナル商品の提供により定期お届けコースのお客様を増やして参ります。また、野菜ジュース類だけでなく、「自然を、おいしく、楽しく。」領域における通販適性の高い商品ラインの拡充を図り、さらなる成長をめざします。

生鮮野菜事業は、ビジネスモデル自体が、新しい農業のあり方として評価されておりますが、より多くのお客様にカゴメ「こくみ」トマトをお届けできるよう、さらに栽培拠点の拡大を図ります。そして、「こくみ」ブランドを確立し、収益力を高めて行きます。

海外事業においては、2003年1月、株式の取得により、台湾カゴメ(株)を子会社としております。今後、台湾カゴメ(株)を通して、中国・アジアなどのマーケットも視野に入れ、カゴメ・ブランドのアジア化を促進いたします。北米においては、米国野菜飲料マーケットの可能性を追求するために、KAGOME INC.を通じて、自然・ウェルネス市場に対し、独自の販売ルートで野菜飲料のテスト販売を実施しております。北米でのカゴメ・ブランドの確立に挑戦し、グローバル化の第一歩を踏み出したいと考えております。

マネジメントについては、以下の課題に取り組む機能を強化します。

営業面では、営業支援情報システムの積極的な活用により、「情報提供・提案型営業」に取り組めます。

営業体制の面では、カゴメラビオ㈱との機能統合をめざし、低温度帯商品の営業体制を強化いたします。また、流通との取り組みを推進し、サプライチェーンの構築により物流の効率化を推進します。さらに、独自の管理会計システムを活用し、販売促進費の削減を実行します。

研究開発面では、新しい「需要の創造」をめざし、食品加工技術の高度化、トマト種子資源の強化、トマトの高収量栽培技術の確立、機能性研究を中核とするバイオジェニクス研究、乳酸菌の免疫力に関するプロバイオティクス研究などに取り組みます。また、化学調味料・保存料・着色料などを使用しない、自然の素材だけでつくったおいしさをカゴメの品質基準として、商品づくりを推し進めます。

品質保証面では、工場別のISO9001システムから、全社ISO9001認証取得を進めます。さらに、HACCP（危害分析重要管理点方式）の思想を取り入れ、品質リスクマネジメントを強化し、高品質で安全なカゴメ商品を提供してまいります。環境マネジメントでは、全工場で認証取得したISO14001をベースとした「カゴメ環境マネジメントシステム」を活用し、企業活動を進めます。健康・環境に配慮した商品の提供、廃棄物の削減、CO2排出量の削減を引き続き進めてまいります。また、「カゴメ環境報告書」を継続して発行し、活動をお知らせいたします。

(5) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方及びその施策の実施状況

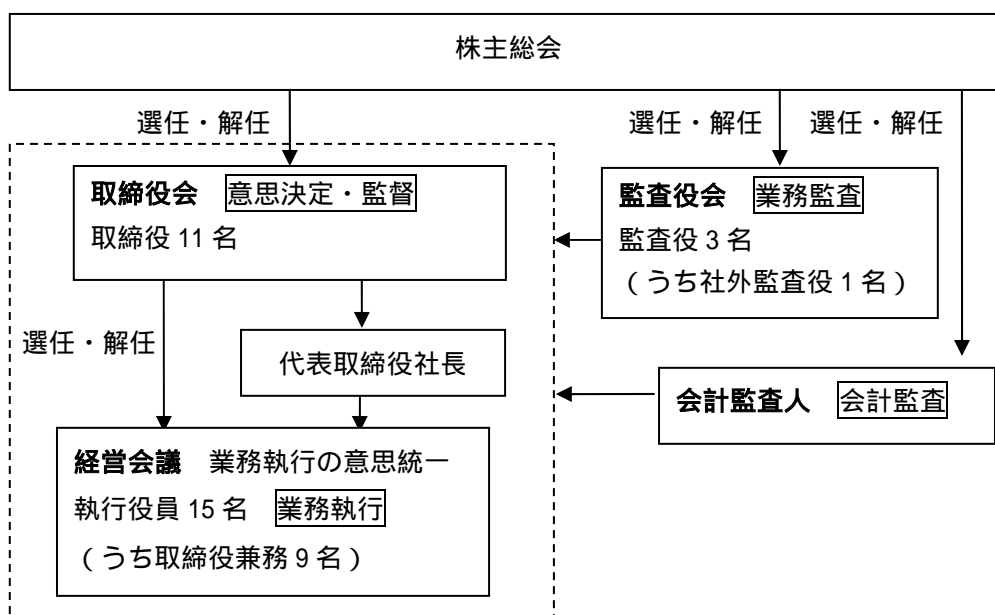
<コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方>

当社グループにおける、コーポレート・ガバナンスの考え方は、企業理念のひとつである「開かれた企業」に則った経営の透明性の実現、経営責任の明確化、スピーディな意思決定、そして経営監視機能の強化であり、経営の優先課題として取り組んでおります。

<コーポレート・ガバナンスに関する施策の実施状況>

当社の経営の意思決定、業務執行および監督に係る経営管理組織その他のコーポレート・ガバナンス体制の状況

- ・ 当社は監査役制度採用会社であり、3名の監査役のうち1名が社外監査役です。
- ・ 2003年6月に導入した執行役員制により、執行役員は15名、うち取締役兼務は9名（社外取締役はなし）です。
- ・ 業務執行・監視の仕組みについては、以下に示す通りです。



- ・ 弁護士・会計監査人等その他第三者の状況については、複数の法律事務所と顧問契約を締結し、企業経営や日常業務におけるアドバイスを、また、会計監査人以外の監査法人からも必要に応じて助言を受けております。

会社と社外監査役の人間関係、資本関係又は取引関係その他の利害関係

当社は監査役制度採用会社であり、3名の監査役のうち1名が社外監査役であります。社外監査役として、大日本紙業(株)の元取締役を選任しております。大日本紙業(株)は、当社株式を4.11%保有しております。

コーポレート・ガバナンスの充実に向けた取り組み

- ・ 2003年6月、執行役員制を導入し、取締役会の意思決定・監督機能と執行役員の業務執行機能を分離、経営責任の明確化および意思決定と業務執行のスピードアップを図りました。また、経営環境の変化への迅速な対応のため、取締役の任期は1年に改定いたしました。
- ・ 経営機関としては、常務会、経営課題会議、事業戦略会議を廃止し、新たに経営会議を設置しました。経営会議は、経営課題を審議し業務執行の意思統一を図るため、全執行役員により毎月第三金曜・土曜に開催しております。
- ・ 情報開示については、株主と投資家の皆様に対してはIR活動を積極的に進めております。参加しやすい株主総会の運営を目指し、1998年度より、集中日を避けて株主総会を開催、また、株主様と直接の対話する機会を増やすため、2000年度より実施した「メニュー紹介試食会」を「カゴメを味わう株主懇親会」へと発展させ、東京・名古屋で開催しております。2003年2月は、5,788名の参加をいただきました。
- ・ 経営監視機能の強化については、多くの株主様の目でカゴメを評価していただくべく、「10万人のファン株主づくり」を推進しております。2003年9月末現在の株主数は、71,286名となっており、順調に拡大しております。今後も、株主様からいただいたご意見を反映した経営を推し進めるとともに、企業活動の情報開示を拡充させてまいります。

(6) 会社の経営上の重要な事項

カゴメは2002年11月に雪印ラビオ(株)の発行済全株式を取得、子会社化し、2003年3月には、カゴメラビオ(株)と改称、乳酸菌事業に本格参入いたしました。4月には、カゴメラビオ(株)のプロバイオティクス技術とカゴメのバイオジェニックス技術の融合を図るため、総合研究所にプロバイオティクス研究部とバイオジェニックス研究部を新設、新しい需要創造に向けて、野菜と乳酸菌のチルド飲料「カゴメ Hug Hug (はぐはぐ)」を発売いたしました。

2003年12月、乳酸菌事業のさらなる売上拡大のために、営業機能をカゴメに統合し、乳酸菌事業を支えるチルド営業体制の強化を行い、あわせて物流機能も統合・再編いたします。この機能再編により、カゴメラビオ(株)は、製造機能に特化したカゴメの子会社となります。

5. 経営成績及び財政状態

	売上高	営業利益	経常利益	中間(当期)純利益	1株当たり中間(当期)純利益
前中間期実績 (増減率)	79,285 百万円 (0.2%)	5,096 百万円 (3.9%)	5,083 百万円 (6.0%)	1,476 百万円 (39.2%)	19.11 円 (39.2%)
当中間期実績 (増減率)	85,102 百万円 (7.3%)	3,103 百万円 (39.1%)	3,075 百万円 (39.5%)	1,792 百万円 (21.5%)	23.21 円 (21.5%)
通期予想 (増減率)	158,000 百万円 (7.3%)	4,900 百万円 (5.8%)	4,700 百万円 (1.3%)	2,500 百万円 (543.4%)	32.37 円 (543.5%)

(1) 経営成績

〔当上半期の概況〕

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業業績の緩やかな回復とともに、民間設備投資がやや上向き、また、株価の回復は、金融不安を遠ざけることとなりました。しかしながら、個人消費は、雇用不安や所得減少の影響を受けて引続き低迷し、停滞基調を脱するには至りませんでした。

食品業界においては、長引く消費の低迷に加え、今夏の天候不順が、特に飲料の売上に大きな影響を与えました。また、無認可添加物入り香料の問題、輸入食材の残留抗生物質問題などにより、食品の品質管理や安全性、環境への取り組みがより強く求められております。

このような企業環境下において、当社グループは、年度経営方針「『カゴメ・ブランド価値経営』にもとづく利益構造改革」のもと、新しい需要創造と利益構造改革を両輪として、年度経営を進めております。特に前年度において、市場の極端な価格競争に追随し、増大した飲料の販売促進費については、積極的に削減を進めてまいりました。

第1四半期においては、単体売上高は357億93百万円(前年同期比5.6%増)となりましたが、為替影響による輸入商品・原材料の原価上昇、広告宣伝活動の前倒し執行等により、営業利益は5億円(前年同期比約7割減)となりました。

第2四半期においては、天候不順及び納価是正による飲料等の減収で、売上高374億64百万円(前年同期比8.9%減)となりましたが、販売促進費削減が実効を生み、営業利益は19億円(前年同期比約4割減)となりました。

また、品質リスクへの備えについては、継続して経営の最重要課題とし、トップ主催の品質保証委員会による商品クレームや事故の再発防止、商品表示の適正化に取り組んでおります。

当中間期の売上高は、子会社となった台湾カゴメ㈱(従来は持分法適用会社)、カゴメラビオ㈱を加え、前年同期比7.3%増の851億2百万円、営業利益は前年同期比39.1%減の31億3百万円、経常利益は前年同期比39.5%減の30億75百万円、中間純利益は前年同期比21.5%増の17億92百万円という結果となりました。

また、当中間期の設備投資額は27億82百万円となりました。主な投資としては、上野、小坂井工場の老朽化更新、海外協力工場へのトマト製品無菌充填機の導入であります。

セグメント別の業績の状況は、次の通りであります。

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	当中間期	前中間期	増減	当中間期	前中間期	増減
食 品	83,255	77,496	5,758	2,641	4,753	2,111
そ の 他	7,777	7,935	158	453	343	110
合 計	91,032	85,432	5,600	3,094	5,096	2,001

<食品セグメント>

食品セグメントの売上高は、前年同期比7.4%増の832億55百万円となりました。

食品セグメントにおける事業別の売上高の状況は、次の通りであります。

飲料事業

飲料事業においては、日本人の野菜摂取不足の解消のために「野菜飲料を国民健康飲料に育成する」ことをミッションとして、事業活動に取り組んでおります。まず、2003年2月に野菜飲料の基幹商品である「野菜生活100」シリーズのパッケージをリニューアル、ブランド力の一層の強化を図りました。同時に、商品ラインアップの一層の拡充に向け、10種類の野菜と3種類の果実をブレンドした新しいタイプの青汁「緑王」を発売しております。「緑王」の主原料である新野菜「プチベール」は、一般的な青汁の主原料であるケールとメキャベツを掛け合わせた新種の野菜で、ケール以上に、カルシウムなど多くの栄養素を含んでおります。

また、カゴメラビオ(株)の持つプロバイオティクス技術を活用し、「野菜」と「乳酸菌」を融合した新カテゴリーの商品として、2003年4月に第一弾商品「はぐはぐ」を発売いたしました。また第二弾として、10月に「果実と野菜ののむヨーグルト」を発売いたします。

昨年来、ヨーグルト、機能性飲料を中心に各社から投入された「健康」訴求製品との競合激化により、野菜飲料の需要は相対的に低迷、競合も含めて野菜飲料の価格下落が加速、当社も市場の極端な価格競争に追随し販売促進費が増大いたしました。この状況に対し、当社はカゴメ野菜飲料のブランド価値の低下を回避し、利益改善を図るため、8月より納入価格の是正に着手いたしました。その結果、8月以降、販売促進費削減は実効を上げておりますが、冷夏と納入価格の是正による特売頻度減少により、8、9月の売上は大きく減少いたしました。

その結果、飲料事業の売上高は、前年同期比4.9%増の503億49百万円となりました。

食品事業

食品事業は、少子高齢化、単身・二世帯の増加、女性の有職率拡大等の中で、変化する食に関する意識、食行動に対応して、当社ならではの「トマトと野菜」の力を活用し、食事を通じて「身体の健康」だけでなく「心の潤いや豊かさ」を提供するため、商品開発・価値開発・売り場開発に取り組んでまいりました。

まず、ドライ調理食品において、「リゾット」「ませごはん」「スープごはん」等の「カゴメデリ」シリーズは、継続的な商品リニューアルときめ細かな店頭プロモーションなどにより、お客様に商品価値を正しく評価していただき、激化する競合環境下においても、カテゴリー1の地位を堅持しました。また、従来の「加工米飯」に加え、カゴメが独自に技術開発した「アルデンテペルフェット製法」によりパスタ本来の食感を実現した「パスタセット」をラインアップに加えております。具体的には、2003年2月に「ショートパスタ」、8月に「シチューマカロニ」の各シリーズを導入しております。その結果、「カゴメデリ」シリーズの売上は、前年同期比22.7%増の20億47百万円と順調に拡大いたしました。

冷凍食品は、この市場においてカゴメならではの個性と存在感のある地位を構築するため、冷凍パスタに特化し、8月に「できたてパスタ」シリーズのラインアップを強化、9月には高付加価値型のトレー付「できたてパスタ」シリーズ2品を導入いたしました。

2002年9月に市場参入したチルド加工食品は、2003年9月に、チルドスープの新たな市場創造を目指した「カゴメ野菜スープ」3品をリニューアルいたしました。また、順調に取扱店を拡大している「ピッツァソース」は更なる拡大を図るためにラインアップを強化いたしました。

調味料分野につきましては、食市場の変化に対応したバリエーション商品の育成に注力いたしました。

8 月にはトマトキッチンスタジオのブランド再定義に基づく商品ラインの再編とパッケージの全面リニューアルを行ないましたが、既存調味料の構造的な需要減にともなう売上減少を補うまでにはいたりませんでした。

その結果、食品事業の売上高は前年同期比 9.8% 増の 181 億 84 百万円となりました。

業務用事業

業務用事業は、「外食・中食 / 内食のボーダーレス化」が進行する日本の食市場全体の変化を的確に把握した上で、多様化する卸店様、ユーザー様のご要望への対応力を強化すべく、商品ラインの拡充やメニュー提案・情報提供により、継続的な市場開拓に取り組んでまいりました。

当中間期におきましては、今春新発売いたしました「冷凍トマト煮シリーズ」をはじめとする、冷凍調理食品、冷凍野菜素材、イタリア産トマト素材、トマトソース等を中心に着実な売上増を達成できました。

また、米国子会社の KAGOME INC. も堅実な売上成長と利益を確保いたしました。

その結果、業務用事業の売上高は前年同期比 4.9% 増の 112 億 5 百万円となりました。

その他の事業（通販・生鮮野菜・その他）

通販事業は、主力商品である「毎日飲む野菜シリーズ定期お届けコース」が順調に売上を伸ばしたことに加え、新たに投入した「旬しぼり」シリーズの新製品「桃しぼり」も売上拡大に大きく貢献いたしました。

また、本年度の「夏しぼり」発売を機に、女優の吉永小百合さんを健康直送便のプレゼンターとして起用し、価値伝達の強化を図っております。

その結果、通販事業の売上高は、前年同期比 63.0% 増の 20 億 29 百万円となりました。

生鮮野菜事業においては、「こくみトマト」ブランドのさらなる拡充と浸透を図るため、供給面では、高知県の四万十みはら菜園（2003 年 10 月出荷開始）の建設と出荷準備を行ってまいりました。また、北海道やその他高冷地を中心とする夏季産地からの調達を拡大し、より安定的な周年供給を実現しております。販売面では積極的な店頭販促活動を行いながら、量販店および外食ユーザーへの販売を拡大いたしました。

その結果、生鮮野菜事業の売上高は、前年同期比 73.4% 増の 13 億 1 百万円となりました。

上記の結果、その他の事業全体の売上高は、前年同期比 55.7% 増の 35 億 16 百万円となりました。

< その他のセグメント >

運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等を合わせたその他のセグメントの売上高は、前年同期比 2.0% 減の 77 億 77 百万円となりました。

〔通期の見通し〕

わが国の経済情勢は、企業収益の改善に一部、明るさが見えるものの、米国・欧州を中心とする不透明な経済情勢の影響、低迷する雇用環境等により、個人消費の回復には、未だ時間がかかることが予想されます。

当社グループは、ブランド・ステートメントである「自然を、おいしく、楽しく。KAGOME」のもと、新しい需要の創造と利益構造改革により、企業価値を高めてまいります。各事業における具体的な施策は次の通りであります。

飲料事業につきましては、野菜飲料の納入価格は正による、収益構造の転換を第一といたします。また、本年12月には、子会社であるカゴメラビオ㈱との営業統合を行い、乳酸菌カテゴリーの商品ラインアップを充実させ、チルド温度帯における市場の拡大を図ってまいります。このチルド温度帯の強化によって、トマトと野菜と乳酸菌の全ての分野での、新しい商品開発や新しい売り場提案の機会を増やしてまいります。

食品事業につきましては、「カゴメデリ」シリーズの購買促進のためのテレビコマーシャルの投下、季節に対応した商品ラインアップへの変更、パスタメニューの拡充等による、より一層の市場拡大を図ってまいります。

また、トマト味の家庭への普及を目的に「イタリアン鍋キャンペーン」を核とした各種プロモーションの実施によるトマト調味料の市場拡大にも積極的に取り組んでまいります。

業務用事業につきましては、生活スタイルの変化による「外食・中食/内食のボーダーレス化」を大きなビジネスチャンスとして捉え、冷凍分野を中心とする新商品の開発・導入、メニュー提案等の各種提案活動による、新しい市場開拓に取り組んでまいります。

通販事業につきましては、引き続き主力の「毎日飲む野菜シリーズ」定期お届けコースを中心に事業の拡大を図ります。また、お客様とのダイレクトかつ双方向のコミュニケーションを重視し、お客様の要望を商品に反映することができるよう取り組んでまいります。

生鮮野菜事業につきましては、「こくみトマト」ブランドのさらなる供給拡大に向け、美野里菜園（茨城県）、世羅菜園（広島県）に続くガラス温室型の大型菜園として、10月より四万十みはら菜園（高知県）における出荷を開始いたしました。また、引き続き、いわき小名浜菜園（福島県）他の菜園建設を予定しております。

このような施策によって業績の向上に努め、年度経営方針である「『カゴメ・ブランド価値経営』にもとづく利益構造改革」を推進してまいります。

通期の見通しにつきましては、売上高は前期比7.3%増の1,580億円、営業利益は前期比5.8%増の49億円、経常利益は前期比1.3%増の47億円、当期純利益は前期比543.4%増の25億円を見込んでおります。

(2) 財政状態

(単位:百万円)

項 目	当中間期 (2003.4.1~2003.9.30)	前中間期 (2002.4.1~2002.9.30)	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,718	4,403	8,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,808	664	2,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,626	773	9,400
現金及び現金同等物換算差額	7	56	63
現金及び現金同等物の増加額	2,092	3,021	929
現金及び現金同等物期末残高	16,233	19,992	3,758

当中間期末における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、162億33百万円となり、前中間期に比べ37億58百万円減少いたしました。

この要因は、当中間期において手元流動性資金の圧縮を行なったことによります。また、資金調達コスト削減のため、債権流動化を縮小しコマーシャル・ペーパーを発行いたしました。このことにより、営業キャッシュ・フローが悪化し、財務キャッシュ・フローが増加しております。

各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は前年同期に比べ大幅に悪化し、37億18百万円の減少に転じました。これは、税金等調整前中間純利益30億62百万円および非資金取引である減価償却費24億35百万円等の増加要因があったものの、売上債権の増加101億39百万円(主に債権流動化の縮小による)により、大幅な資金の減少となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は28億8百万円の減少(前年同期比21億43百万円減少)となりました。これは主に、固定資産取得による支出が29億91百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、86億26百万円(前年同期比94億円増加)の資金の増加となりました。これは、当中間期において、コマーシャル・ペーパーを総額250億円発行し、うち150億円を償還したことが主な要因であります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標は次の通りであります。

項 目	2001/9 中間期	2002/9 中間期	2003/9 中間期	2002/3期	2003/3期
株主資本比率 (%)	43.5	44.9	40.9	46.8	43.2
時価ベースの株主資本比率 (%)	90.2	67.7	62.2	82.2	63.0
債務償還年数 (年)	4.4	6.6	-	1.3	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	126.8	620.7	-	118.4	45.1

(注) 株主資本比率 : (株主資本) ÷ (総資産)

時価ベースの株主資本比率 : (株式時価総額) ÷ (総資産)

債務償還年数 : (有利子負債) ÷ (営業キャッシュ・フロー)

中間期末における債務償還年数 : (有利子負債) ÷ (営業キャッシュ・フロー) × 2

インタレスト・カバレッジ・レシオ

: (営業キャッシュ・フロー) ÷ (利払い)

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 「株式時価総額」は、(期末株価終値) × (期末発行済株式数) により算出しております。
3. 「営業キャッシュ・フロー」は連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。「有利子負債」は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、「利払い」については、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。
4. 「債務償還年数」および「インタレスト・カバレッジ・レシオ」については、営業キャッシュ・フローがマイナスの場合は、記載しておりません。

6. 中間連結財務諸表等

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当 中 間 期 末 (2003.9.30現在)		前 中 間 期 末 (2002.9.30現在)		増 減 金 額	前 期 末 (2003.3.31現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%			%
流 動 資 産	62,668	54.1	63,053	60.7	385	53,096	50.3
現金及び預金	3,843		2,665		1,178	2,302	
受取手形及び売掛金	25,708		16,120		9,588	15,569	
有 価 証 券	12,389		18,326		5,937	11,837	
た な 卸 資 産	13,513		13,546		33	13,005	
繰 延 税 金 資 産	1,019		1,060		40	795	
デ リ バ テ ィ プ 債 権	3,509		6,898		3,389	5,873	
そ の 他	2,773		4,458		1,685	3,770	
貸 倒 引 当 金	89		23		66	58	
固 定 資 産	53,222	45.9	40,774	39.3	12,448	52,372	49.7
有 形 固 定 資 産	40,573	35.0	29,027	28.0	11,546	40,310	38.2
建 物 及 び 構 築 物	12,406		10,476		1,929	12,414	
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	13,655		9,814		3,840	13,295	
工 具 ・ 器 具 及 び 備 品	891		889		1	855	
土 地	13,365		6,977		6,387	13,365	
建 設 仮 勘 定	254		868		613	379	
無 形 固 定 資 産	1,470	1.3	725	0.7	744	1,468	1.4
営 業 権	5		9		3	7	
商 標 権	273		-		273	288	
ソ フ ト ウ ェ ア	1,031		675		355	1,012	
そ の 他	159		40		119	159	
投 資 そ の 他 の 資 産	11,179	9.6	11,021	10.6	157	10,593	10.1
投 資 有 価 証 券	8,237		7,721		515	7,192	
繰 延 税 金 資 産	182		631		448	543	
そ の 他	3,002		2,885		117	3,100	
貸 倒 引 当 金	243		216		26	242	
資 産 合 計	115,891	100.0	103,827	100.0	12,063	105,469	100.0

(単位：百万円)

科 目	当 中 間 期 末 (2003.9.30現在)		前 中 間 期 末 (2002.9.30現在)		増 減 金 額	前 期 末 (2003.3.31現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比		金 額	構 成 比
(負 債 の 部)		%		%			%
流 動 負 債	44,267	38.2	38,945	37.5	5,322	35,132	33.3
支払手形及び買掛金	15,136		16,776		1,639	15,331	
短期借入金	510		-		510	1,019	
コマーシャル・ペーパー	10,000		-		10,000	-	
未 払 金	10,119		11,586		1,467	9,485	
未 払 法 人 税 等	1,331		848		483	119	
賞 与 引 当 金	1,667		1,580		86	1,680	
繰 延 ヘ ッ ジ 利 益	3,509		6,898		3,389	5,873	
そ の 他	1,992		1,254		737	1,622	
固 定 負 債	22,474	19.4	18,279	17.6	4,195	22,976	21.8
転 換 社 債	14,541		14,541		-	14,541	
繰 延 税 金 負 債	761		142		619	686	
退 職 給 付 引 当 金	2,841		1,757		1,084	2,776	
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	281		351		70	397	
連 結 調 整 勘 定	460		-		460	511	
そ の 他	3,588		1,487		2,101	4,064	
負 債 合 計	66,741	57.6	57,224	55.1	9,517	58,109	55.1
(少 数 株 主 持 分)							
少 数 株 主 持 分	1,791	1.5	-	-	1,791	1,811	1.7
(資 本 の 部)							
資 本 金	4,772	4.1	4,772	4.6	-	4,772	4.5
資 本 剰 余 金	8,520	7.4	8,520	8.2	-	8,520	8.1
利 益 剰 余 金	32,610	28.1	32,682	31.5	71	31,594	30.0
その他有価証券評価差額金	1,595	1.4	829	0.8	766	961	0.9
為 替 換 算 調 整 勘 定	132	0.1	197	0.2	64	291	0.3
自 己 株 式	9	0.0	4	0.0	4	8	0.0
資 本 合 計	47,357	40.9	46,603	44.9	754	45,548	43.2
負債、少数株主持分及び資本合計	115,891	100.0	103,827	100.0	12,063	105,469	100.0

(2) 中間連結損益計算書

(単位 : 百万円)

期 別 科 目	当 中 間 期 (2003.4.1~2003.9.30)		前 中 間 期 (2002.4.1~2002.9.30)		増 減		前 期 (2002.4.1~2003.3.31)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売 上 高	85,102	100.0	79,285	100.0	5,816	7.3	147,189	100.0
売 上 原 価	41,909	49.2	36,968	46.6	4,941		71,515	48.6
売 上 総 利 益	43,192	50.8	42,317	53.4	875	2.1	75,673	51.4
販売費及び一般管理費	40,089	47.2	37,220	47.0	2,868		71,043	48.3
営 業 利 益	3,103	3.6	5,096	6.4	1,993	39.1	4,630	3.1
営 業 外 収 益	475	0.6	425	0.5	50		737	0.5
受取利息及び配当金	109		126		17		211	
持分法による投資利益	-		121		121		99	
受取保険金	90		6		84		16	
連結調整勘定償却	51		-		51		4	
雑 収 入	223		170		53		406	
営 業 外 費 用	503	0.6	437	0.5	65		729	0.4
支 払 利 息	47		47		0		98	
たな卸資産廃棄損	278		-		278		-	
輸 入 雑 損 失	78		325		247		431	
雑 支 出	98		64		34		200	
経 常 利 益	3,075	3.6	5,083	6.4	2,007	39.5	4,638	3.2
特 別 利 益	100	0.1	919	1.2	818		1,032	0.7
貸倒引当金戻入額	-		19		19		6	
固定資産売却益	0		365		365		433	
投資有価証券売却益	100		22		77		82	
退職給付制度改定特別利益	-		511		511		511	
特 別 損 失	114	0.1	3,344	4.2	3,230		4,525	3.1
固定資産処分損	73		76		2		217	
投資有価証券売却損	5		-		5		0	
投資有価証券評価損	-		7		7		663	
ゴルフ会員権評価損	-		29		29		33	
たな卸資産廃棄損	-		508		508		887	
代行返上追加拠出金	35		-		35		-	
退職給付制度改定特別損失	-		2,723		2,723		2,724	
税金等調整前中間(当期)純利益	3,062	3.6	2,658	3.4	404	15.2	1,145	0.8
法人税、住民税及び事業税	1,402		965		436		228	
法人税等調整額	211		216		428		528	
少数株主利益	78		-		78		-	
中 間 (当 期) 純 利 益	1,792	2.1	1,476	1.9	316	21.5	388	0.3

(3) 中間連結剰余金計算書

(単位 : 百万円)

科 目	当 中 間 期 (2003.4.1~2003.9.30)	前 中 間 期 (2002.4.1~2002.9.30)	増 減	前 期 (2002.4.1~2003.3.31)
(資 本 剰 余 金 の 部)				
資 本 剰 余 金 期 首 残 高	8,520	8,520	-	8,520
資 本 剰 余 金 中 間 期 末 (期 末) 残 高	8,520	8,520	-	8,520
(利 益 剰 余 金 の 部)				
利 益 剰 余 金 期 首 残 高	31,594	32,034	439	32,034
利 益 剰 余 金 増 加 高	1,792	1,476	316	388
中 間 (当 期) 純 利 益	1,792	1,476	316	388
利 益 剰 余 金 減 少 高	776	828	51	828
配 当 金	772	772	0	772
取 締 役 賞 与 金	4	55	51	55
利 益 剰 余 金 中 間 期 末 (期 末) 残 高	32,610	32,682	71	31,594

(4) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

項 目	当 中 間 期 (2003.4.1~2003.9.30)	前 中 間 期 (2002.4.1~2002.9.30)	増 減	前 期 (2002.4.1~2003.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前中間(当期)純利益	3,062	2,658	404	1,145
減価償却費	2,435	1,851	584	4,186
賞与引当金の増減額	13	40	27	59
退職給付引当金の増減額	65	4,328	4,394	4,505
前払年金費用の増減額	-	1,510	1,510	1,510
未払金の増減額	976	2,496	1,520	134
確定拠出年金移行に伴う未払金の増減額	483	1,761	2,245	1,342
未収入金の増減額	376	1,031	1,407	40
受取利息及び配当金	109	126	17	211
支払利息	47	47	0	98
為替差損益	93	18	74	141
持分法による投資利益	-	121	121	99
ゴルフ会員権評価損	-	29	29	33
有価証券評価損	-	7	7	663
固定資産売却益	0	365	365	433
固定資産処分損	73	76	2	217
売上債権の増減額	10,139	1,788	8,351	994
たな卸資産の増減額	507	1,042	534	357
仕入債務の増減額	194	3,835	4,030	677
未払消費税等の増減額	264	87	177	156
その他の増減額	67	832	765	424
役員賞与の支払額	11	55	43	55
小 計	4,319	4,608	8,927	5,351
利息及び配当金の受取額	109	304	195	384
利息の支払額	6	7	0	97
法人税等の還付・支払額	498	502	1,000	1,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,718	4,403	8,122	4,393
投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の払戻による収入	-	540	540	540
有価証券の取得による支出	322	17	304	1,021
有価証券の売却による収入	436	479	43	1,635
固定資産の取得による支出	2,991	2,097	894	4,999
固定資産の売却による収入	8	447	438	617
子会社株式の取得による支出	-	-	-	2,046
貸付金の貸付による支出	1	-	1	10
貸付金の回収による収入	4	99	95	2
その他の投資等の増減額	59	116	175	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,808	664	2,143	5,370

(単位：百万円)

項 目	当中間期 (2003.4.1~2003.9.30)	前中間期 (2002.4.1~2002.9.30)	増 減	前 期 (2002.4.1~2003.3.31)
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入金の借入による収入	122	1,206	1,083	5,866
借入金の返済による支出	630	1,206	575	6,450
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	25,000	-	25,000	5,000
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	15,000	-	15,000	5,000
社債の償還による支出	-	-	-	468
配当金支払額	772	772	0	772
少数株主への配当金の支払額	91	-	91	-
自己株式の取得及び売却による増減額	0	1	0	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,626	773	9,400	1,830
現金及び現金同等物換算差額	7	56	63	21
現金及び現金同等物の増減額	2,092	3,021	929	2,829
現金及び現金同等物期首残高	14,140	16,970	2,829	16,970
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	16,233	19,992	3,758	14,140

(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1 . 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結子会社 8 社
- (2) 非連結子会社 2 社

非連結子会社 2 社はいずれも小規模会社であり、合計の総資産、売上高、中間純損益及び利益剰余金等はいずれも中間連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていません。

2 . 持分法の適用範囲に関する事項

持分法を適用しない非連結子会社または関連会社 4 社

非連結子会社 2 社及び関連会社 2 社は、いずれも中間純損益 (持分に見合う額) 及び利益剰余金 (持分に見合う額) 等からみて、持分法の対象から除いても中間連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、かつ、全体としても重要性がないため持分法は適用していません。

3 . 連結子会社の中間事業年度に関する事項

連結子会社のうちカゴメ不動産(株)、カゴメ物流サービス(株)、東京職域販売(株)、(株)名古屋サービス、サウンドフーズ(株)及びカゴメラビオ(株)の中間決算日は 8 月末日であり、KAGOME INC. 及び台湾カゴメ(株)の中間決算日は 6 月末日であります。

中間連結財務諸表の作成に当たっては、同中間決算日現在の中間財務諸表を使用しております。

なお、中間連結決算日までの期間に発生した重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

4 . 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産 主として総平均法による低価法

有価証券

満期保有目的の債券 償却原価法 (定額法)

その他有価証券

時価のあるもの 中間決算日の市場価格等に基づく時価法 (評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。)

時価のないもの 主として移動平均法による原価法

デリバティブ 時価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産 主として定率法

ただし、1998年4月1日以降取得した建物 (建物附属設備を除く) については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は、以下の通りであります。

建物及び構築物 3 ~ 50 年

機械装置及び運搬具 2 ~ 15 年

無形固定資産 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間 (5 年) に基づく定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

貸倒引当金

売掛金等債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、当中間期に負担すべき支給見込額を計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間期末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（17年）による定額法により、翌年度から費用処理しております。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。

(4) 外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外子会社等の資産及び負債は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益及び費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は資本の部における為替換算調整勘定に含めております。

(5) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6) 重要なヘッジ会計の方法

ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。

ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段 為替予約

ヘッジ対象取引 外貨建予定取引

ヘッジ方針 ヘッジ対象の範囲内で、将来の為替相場の変動によるリスクを回避する目的でのみヘッジ手段を利用する方針であります。

(7) その他中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理の方法 税抜方式によっております。

5. 連結調整勘定の償却に関する事項

連結調整勘定は、5年間で均等償却しております。

6. 中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

中間連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲に含めた現金及び現金同等物は、手許現金及び要求払預金のほか、取得日より3ヶ月以内に満期日が到来する定期性預金及び取得日より3ヶ月以内に償還日が到来し容易に換金可能で、かつ、価格の変動について僅少なりスクしか負わない信託等受益証券からなっております。

(中間連結貸借対照表注記)

	当 中 間 期 末	前 中 間 期 末	(単位：百万円) 前 期 末
1.有形固定資産の減価償却累計額	57,677	45,647	56,032
2.債権の一部譲渡による売掛金の減少額	1,514	13,038	9,444
3.担保資産			
たな卸資産	1,748	-	1,519
建物及び構築物	65	-	-
土地	2,144	-	-
その他の	539	-	644
計	4,497	-	2,163
上記物件は、短期借入金446百万円の担保にしております。			
4.偶発債務(債務保証)			
従業員住宅資金借入	55	101	74
(有)世羅菜園銀行借入	370	385	377
5.自己株式の数	10,238株	3,915株	9,209株
6.当座貸越契約及びコミットメント契約			
当座貸越極度額及び			
貸出コミットメントの総額	32,700	32,700	32,800
借入実行残高	-	-	-
差引額	32,700	32,700	32,800

(中間連結損益計算書注記)

	当 中 間 期	前 中 間 期	(単位：百万円) 前 期
1.販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額 (百分比)			
販売手数料	2,692 (3.2%)	2,817 (3.6%)	5,029 (3.4%)
販売促進費	17,399 (20.4%)	16,750 (21.2%)	31,497 (21.4%)
広告宣伝費	3,030	2,833	5,354
運賃・保管料	4,853 (5.7%)	4,205 (5.3%)	8,080 (5.5%)
取締役報酬	140	135	273
監査役報酬	20	20	41
給料・賃金	3,764	3,264	6,619
賞与引当金繰入額	1,120	1,047	1,041
退職給付費用	274	213	311
役員退職慰労引当金繰入額	24	37	59
減価償却費	573	558	1,145
販売費に属する費用の割合	85%	84%	84%
一般管理費に属する費用の割合	15%	16%	16%
百分比は、売上高に対する割合			
2.研究開発費の総額	1,134	1,001	2,169
3.受取利息及び配当金の内訳			
受取利息	22	30	68
有価証券利息	2	7	11
受取配当金	84	89	131

	当 中 間 期	前 中 間 期	(単位：百万円) 前 期
4. 固定資産売却益の内訳			
建物及び構築物	-	11	12
土地	-	354	420
機械装置及び運搬具他	0	0	-
5. 固定資産処分損の内訳			
建物及び構築物	38	53	110
機械装置及び運搬具	32	15	72
土地	-	-	20
工具・器具及び備品他	2	7	14
6. ゴルフ会員権評価損の内訳			
減損処理額	-	5	5
貸倒引当金繰入額	-	24	27

(中間連結キャッシュ・フロー計算書注記)

現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高と中間連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係

	当 中 間 期 末	前 中 間 期 末	(単位：百万円) 前 期 末
現金及び預金	3,843	2,665	2,302
有価証券	12,389	18,326	11,837
計	16,233	20,992	14,140
取得日から3ヶ月を超えて償還期限の 到来する短期投資(有価証券)	-	999	-
現金及び現金同等物中間期末(期末)残高	16,233	19,992	14,140

(リース取引関係)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

1. 借主側

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末(期末)残高相当額

(単位:百万円)

	当中間期末	前中間期末	増	減	前 期 末
取得価額相当額	4,598	4,780		182	4,965
減価償却累計額相当額	2,505	2,329		176	2,742
中間期末(期末)残高相当額	2,092	2,451		358	2,223

(2) 未経過リース料中間期末(期末)残高相当額

(単位:百万円)

	当中間期末	前中間期末	増	減	前 期 末
1 年 内	1,033	1,054		20	1,111
1 年 超	1,226	1,467		240	1,374
合 計	2,260	2,521		261	2,486

(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

(単位:百万円)

	当中間期	前中間期	増	減	前 期
支払リース料	624	644		20	1,262
減価償却費相当額	572	568		4	1,123
支払利息相当額	49	60		10	113

(4) 減価償却費相当額の算出方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(5) 利息相当額の算出方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法は、利息法によっております。

2. 貸主側

(1) リース物件の取得価額、減価償却累計額及び中間期末（期末）残高

（単位：百万円）

	当中間期末	前中間期末	増	減	前期末
取得価額	445	553		107	543
減価償却累計額	244	303		58	328
中間期末（期末）残高	200	249		48	215

(2) 未経過リース料中間期末（期末）残高相当額

（単位：百万円）

	当中間期末	前中間期末	増	減	前期末
1年内	89	116		26	101
1年超	134	162		27	138
合計	224	278		54	240

(3) 受取リース料、減価償却費及び受取利息相当額

（単位：百万円）

	当中間期	前中間期	増	減	前期
受取リース料	72	88		15	169
減価償却費	47	60		12	115
受取利息相当額	23	27		3	53

(4) 利息相当額の算出方法

利息相当額の配分方法は、利息法によっております。

(税効果会計に係る注記)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	(単位：百万円)		
	当中間期	前中間期	前 期
繰延税金資産(流動) 賞与引当金損金算入限度超過額	620	499	531
未払事業税否認額	105	83	0
確定拠出年金移行に伴う未払金(短期)	187	338	195
その他	248	138	233
合 計	1,162	1,060	960
繰延税金負債(流動)との相殺	142	-	164
繰延税金資産(流動)の純額	1,019	1,060	795
繰延税金負債(流動) 未収事業税	-	-	58
その他	142	-	106
合 計	142	-	164
繰延税金資産(流動)との相殺	142	-	164
繰延税金負債(流動)の純額	-	-	-
繰延税金資産(固定) 退職給付引当金損金算入限度超過額	284	136	220
退職給付信託設定額	613	633	613
役員退職慰労引当金否認額	117	148	153
ソフトウェア費用	278	131	272
その他有価証券評価差額金	135	2	1
確定拠出年金移行に伴う未払金(長期)	187	338	352
その他	160	296	156
合 計	1,778	1,688	1,770
繰延税金負債(固定)との相殺	1,596	1,057	1,227
繰延税金資産(固定)の純額	182	631	543
繰延税金負債(固定) 退職給付信託設定益	171	177	171
特別償却準備金	73	84	66
固定資産圧縮積立金	301	283	256
その他有価証券評価差額金	1,227	594	662
土地評価差益	503	-	523
退職給付引当金取崩超過額認定損	46	-	144
その他	32	60	87
合 計	2,358	1,199	1,913
繰延税金資産(固定)との相殺	1,596	1,057	1,227
繰延税金負債(固定)の純額	761	142	686

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主な項目別の内訳

	当 中 間 期	前 中 間 期	前 期
連結財務諸表提出会社の法定実効税率	41.6%	41.6%	41.6%
(調 整) 住民税均等割額	0.9	1.0	5.1
交際費等永久に損金に算入されない項目	2.6	3.0	15.9
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	0.6	0.8	3.2
試験研究費等の特別控除の税額控除額	4.5	-	-
その他	1.1	0.3	6.7
税効果会計適用後の法人税等の負担率	<u>38.9%</u>	<u>44.5%</u>	<u>66.1%</u>

(注) 繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用した法定実効税率は、地方税法の改正(平成16年度4月1日以降開始事業年度より法人事業税に外形標準課税を導入)に伴い、当中間期末における一時差異は改正後の税率に変更しております。

7.セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

	当 中 間 期 自 2003年 4 月 1 日 至 2003年 9 月 30 日				
	食 品	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	83,225	1,877	85,102	-	85,102
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	30	5,900	5,930	(5,930)	-
計	83,255	7,777	91,032	(5,930)	85,102
営 業 費 用	80,614	7,323	87,937	(5,938)	81,999
営 業 利 益	2,641	453	3,094	8	3,103

(単位：百万円)

	前 中 間 期 自 2002年 4 月 1 日 至 2002年 9 月 30 日				
	食 品	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	77,465	1,820	79,285	-	79,285
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	31	6,115	6,147	(6,147)	-
計	77,496	7,935	85,432	(6,147)	79,285
営 業 費 用	72,743	7,592	80,336	(6,147)	74,189
営 業 利 益	4,753	343	5,096	-	5,096

(単位：百万円)

	前 期 自 2002年 4 月 1 日 至 2003年 3 月 31 日				
	食 品	その他	計	消 去 又は全社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	143,523	3,665	147,189	-	147,189
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	69	10,954	11,023	(11,023)	-
計	143,592	14,620	158,213	(11,023)	147,189
営 業 費 用	139,633	13,949	153,582	(11,023)	142,558
営 業 利 益	3,959	671	4,630	-	4,630

(注) 1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各事業の主な内容

食 品 飲料、食品、業務用、通販、生鮮野菜等

そ の 他 運送・倉庫業、不動産賃貸業、パーキング事業等

(2) 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(3) 海外売上高

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

8. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

(単位：百万円)

事業の種類	当中間期 (2003.4.1~2003.9.30)	前中間期 (2002.4.1~2002.9.30)	増減	前期 (2002.4.1~2003.3.31)
飲料	17,546	16,115	1,431	27,567
食品	4,575	4,919	344	10,147
業務用	5,398	5,235	163	10,157
その他	1,287	299	988	993
食品セグメント合計	28,807	26,569	2,237	48,866

(2) 受注状況

主要製品の受注生産は行っておりません。

(3) 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類		当中間期 (2003.4.1~2003.9.30)	前中間期 (2002.4.1~2002.9.30)	増減	前期 (2002.4.1~2003.3.31)
飲料	外部顧客に対するもの セグメント間取引	50,349	48,003	2,345	81,464
	計	-	-	-	-
食品	外部顧客に対するもの セグメント間取引	18,184	16,555	1,628	35,154
	計	-	-	-	-
業務用	外部顧客に対するもの セグメント間取引	11,205	10,679	526	21,533
	計	-	-	-	-
その他	外部顧客に対するもの セグメント間取引	3,486	2,226	1,259	5,371
	計	30	31	1	69
食品セグメント小計		83,225	77,465	5,760	143,523
		30	31	1	69
物流		83,255	77,496	5,758	143,592
不動産	外部顧客に対するもの セグメント間取引	1,553	1,512	41	3,045
	計	5,588	5,803	215	10,336
その他セグメント小計	外部顧客に対するもの セグメント間取引	323	307	15	620
	計	312	312	0	618
その他セグメント小計		635	620	15	1,238
セグメント売上高		1,877	1,820	56	3,665
セグメント間取引		5,900	6,115	215	10,954
連結売上高		7,777	7,935	158	14,620
セグメント売上高		91,032	85,432	5,600	158,213
セグメント間取引		5,930	6,147	216	11,023
連結売上高		85,102	79,285	5,816	147,189

(注)食品セグメントの各事業の内容は、次の通りであります。

- 飲料事業 … 一般家庭向け飲料、贈答用セット商品
- 食品事業 … 一般家庭向け加工食品
- 業務用事業 … 業務用市場向け加工食品・飲料
- その他事業 … カゴメ健康直送便（通信販売）、生鮮トマト、レストラン事業等

9. 有 価 証 券

(当中間期末)

(1) その他有価証券で時価のあるもの

(単位 : 百万円)

	当 中 間 期 末 (2003.9.30現在)		
	取 得 原 価	中間連結貸借対照表 計 上 額	差 額
(1) 株 式	3,897	6,585	2,687
(2) そ の 他	100	100	0
合 計	3,997	6,685	2,687

(2) 時価のない有価証券

(単位 : 百万円)

	当中間期末 (2003.9.30現在)
	中間連結貸借対照表計上額
そ の 他 有 価 証 券 非 上 場 株 式 (店頭売買株式を除く)	1,551
そ の 他	12,389
合 計	13,941

(前中間期末)

(1) その他有価証券で時価のあるもの

(単位 : 百万円)

	前 中 間 期 末 (2002.9.30現在)		
	取 得 原 価	中間連結貸借対照表 計 上 額	差 額
(1) 株 式	4,406	5,827	1,421
(2) そ の 他	100	100	0
合 計	4,506	5,927	1,421

(2) 時価のない有価証券

(単位 : 百万円)

	前中間期末 (2002.9.30現在)
	中間連結貸借対照表計上額
そ の 他 有 価 証 券 非 上 場 株 式 (店頭売買株式を除く)	1,794
そ の 他	18,326
合 計	20,121

(前期末)

(1) その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	前 期 末 (2003.3.31現在)		
	取 得 原 価	連 結 貸 借 対 照 表 計 上 額	差 額
(1) 株 式	4,234	5,857	1,622
(2) そ の 他	100	100	0
合 計	4,334	5,957	1,622

(2) 時価のない有価証券

(単位：百万円)

	前 期 末 (2003.3.31現在)
	連 結 貸 借 対 照 表 計 上 額
そ の 他 有 価 証 券	
非 上 場 株 式 (店 頭 売 買 株 式 を 除 く)	1,235
そ の 他	11,837
合 計	13,073

10. デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

当中間期においては、為替先物予約（長期為替予約含む）を利用しておりますが、ヘッジ会計が適用されており、記載対象から除いております。

為替先物予約（長期為替予約含む）以外のデリバティブ取引については、該当事項はありません。

【ご参考】 連結財務ハイライト

1. 実績と予想の差異

(単位:百万円)

売上高		営業利益		経常利益		純利益	
金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率

2003年3月期 実績

上期実績	79,285	0.2%	5,096	3.9%	5,083	6.0%	1,476	39.2%
下期実績	67,904	7.9%	465	143.7%	445	130.8%	1,087	18.9%
年度実績	147,189	3.6%	4,630	27.3%	4,638	32.3%	388	74.3%

2004年3月期 業績予想(2003年4月23日)

上期予想	87,900	10.9%	5,100	0.1%	4,900	3.6%	2,900	96.4%
下期予想	73,100	7.7%	2,200	572.2%	2,100	571.8%	1,100	201.1%
年度予想	161,000	9.4%	7,300	57.7%	7,000	50.9%	4,000	929.4%

2003年9月期 業績予想修正(2003年9月22日)

上期予想	85,000	7.2%	3,000	41.1%	2,900	43.0%	1,600	8.4%
------	--------	------	-------	-------	-------	-------	-------	------

2004年3月期 中間期実績及び業績予想

上期実績	85,102	7.3%	3,103	39.1%	3,075	39.5%	1,792	21.5%
下期予想	72,897	7.4%	1,796	485.7%	1,624	464.9%	707	165.0%
年度予想	158,000	7.3%	4,900	5.8%	4,700	1.3%	2,500	543.4%
前上期実績比増減	+5,816		1,993		2,007		+316	
当初上期予想比増減	2,797	3.2%	1,996	39.2%	1,824	37.2%	1,107	38.2%

2. 連単倍率

(単位:倍)

	2001/9期	2002/9期	2003/9期	2002/3期	2003/3期	2004/3期 予想
売上高	1.05	1.06	1.16	1.06	1.08	1.17
営業利益	1.05	1.05	1.28	1.07	1.13	1.17
経常利益	1.07	1.11	1.31	1.12	1.24	1.27
中間(当期)利益	1.09	0.98	1.23	1.39	1.62	1.14

2003年 9月 22日

各 位

会社名 カゴメ株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜岡 浩二
(コード番号 2811 東証・名証第1部)
問合せ先 執行役員財務部長 長井 進
(TEL. 03 - 5623 - 8502)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2003年4月23日の決算発表時に公表した2004年3月期(2003年4月1日～2004年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2004年3月期中間業績予想数値の修正(2003年4月1日～2003年9月30日)

(連結)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	87,900	5,100	4,900	2,900
今回修正予想(B)	85,000	3,000	2,900	1,600
増減額(B-A)	2,900	2,100	2,000	1,300
増減率(%)	3.3	41.2	40.8	44.8
(ご参考) 前期実績(2002年9月中間期)	79,285	5,096	5,083	1,476

(単体)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	75,800	4,400	4,100	2,500
今回修正予想(B)	73,000	2,400	2,200	1,300
増減額(B-A)	2,800	2,000	1,900	1,200
増減率(%)	3.7	45.5	46.3	48.0
(ご参考) 前期実績(2002年9月中間期)	75,014	4,858	4,564	1,507

2. 2004年3月期通期業績予想数値の修正（2003年4月1日～2004年3月31日）

（連結）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	161,000	7,300	7,000	4,000
今回修正予想(B)	158,000	4,900	4,700	2,500
増減額(B-A)	3,000	2,400	2,300	1,500
増減率(%)	1.9	32.9	32.9	37.5
（ご参考） 前期実績（2003年3月期）	147,189	4,630	4,638	388

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 32円37銭

（単体）

（単位：百万円、％）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	138,000	6,000	5,400	3,200
今回修正予想(B)	135,000	4,200	3,700	2,200
増減額(B-A)	3,000	1,800	1,700	1,000
増減率(%)	2.2	30.0	31.5	31.3
（ご参考） 前期実績（2003年3月期）	135,743	4,104	3,726	240

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 28円48銭

3. 修正の理由

当中間期の単体業績は、今夏の天候不順及び納価是正により、飲料が減収となり、前回発表予想値を下回る見込みです。

第1四半期においては、単体売上高は358億円（前年同期比5.6%増）となりましたが、拡売費削減は第2四半期以降となり、為替影響による輸入商品・原材料の原価上昇、広告宣伝活動の前倒し執行等により、営業利益は5億円（前年同期比約7割減）となりました。

第2四半期においては、天候不順及び納価是正による飲料等の減収で、売上高372億円（前年同期比約1割減）を見込みますが、飲料の拡売費削減により、営業利益は19億円（前年同期比約4割減）の見込みとなります。

当下期の売上高及び費用につきましては、当初計画通りの執行を予定しておりますが、中間業績予想修正に伴い、通期も前回発表予想値を修正いたします。

連結業績につきましては、当中間期、通期ともに、単体決算の中間業績予想の下方修正、子会社であるカゴメラバイオ㈱及び台湾カゴメ㈱の売上高減少に伴う業績の下方修正により、前回発表予想値を修正いたします。なお、カゴメラバイオ㈱は、12月1日をもってカゴメ㈱に営業統合いたしますが、上記の通期単体予想値には含めておりません。

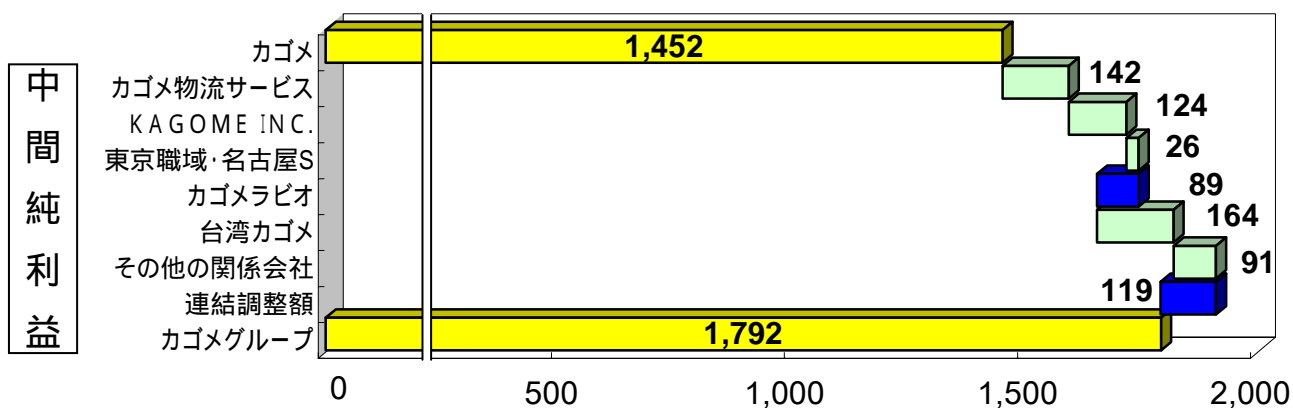
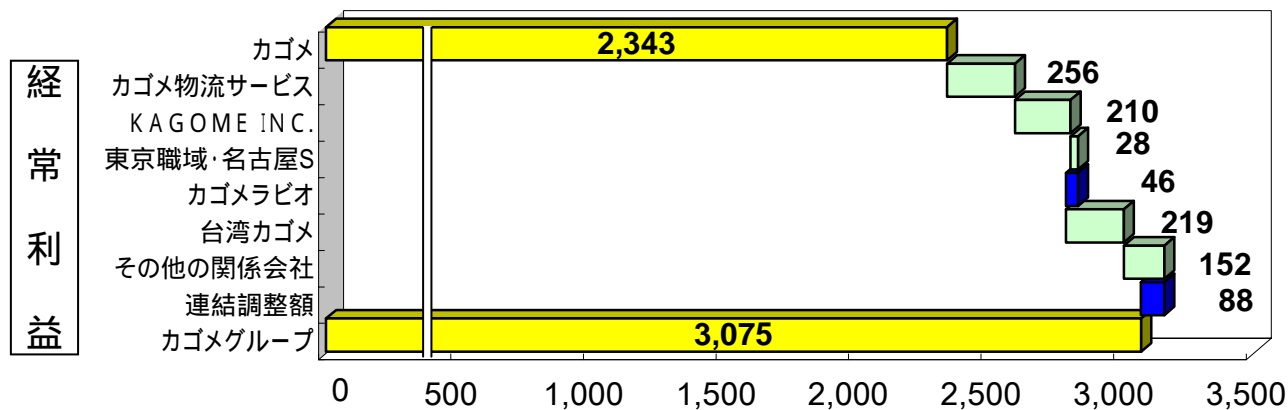
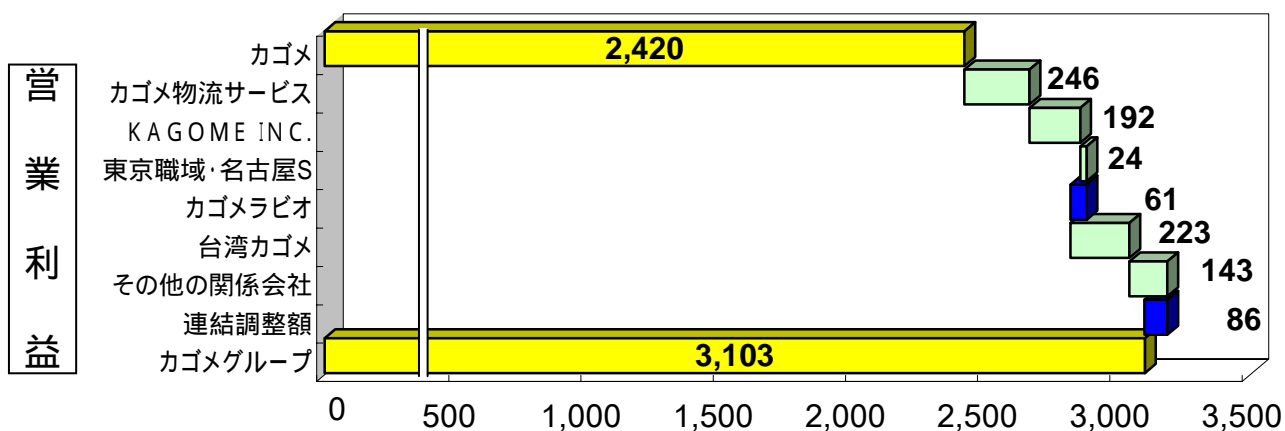
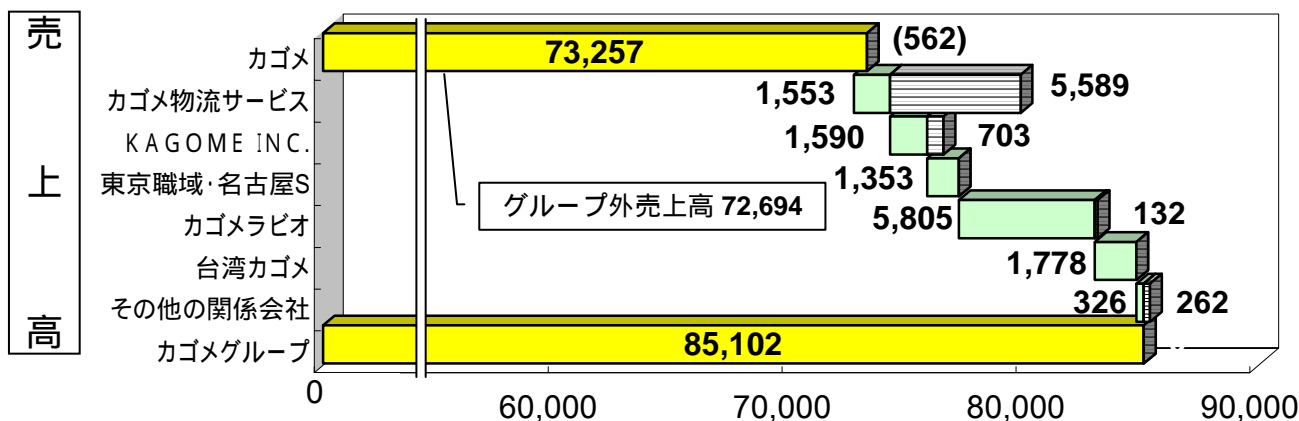
（注）

上記の業績等は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、今後の様々な要因により、業績予想とは異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

以上

3. 2003年9月期 売上・利益の親会社、子会社等内訳

(単位：百万円)



4. <連・単> B/S、P/Lの主な明細

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

資産の部

1 流動資産

カゴメ	58,751	61,872	3,121	49,188	
子会社	8,838	5,808	3,029	8,086	
連結修正	4,922	4,628	293	4,178	
カゴメグループ	62,668	63,053	385	53,096	

手元流動性

現金・預金	3,064	1,432	1,632	738	
有価証券	12,389	18,326	5,937	11,837	
カゴメ	15,454	19,759	4,304	12,576	
現金・預金	778	1,232	453	1,564	
有価証券	-	-	-	-	
子会社	778	1,232	453	1,564	
現金・預金	-	-	-	-	
有価証券	-	-	-	-	
連結修正	-	-	-	-	
現金・預金	3,843	2,665	1,178	2,302	
有価証券	12,389	18,326	5,937	11,837	
カゴメグループ	16,233	20,992	4,758	14,140	

受取手形及び売掛金

受取手形	347	644	296	696	
売掛金	22,585	14,596	7,988	12,537	
カゴメ	22,932	15,241	7,691	13,233	
受取手形	473	201	271	497	
売掛金	3,368	1,796	1,572	2,860	
子会社	3,842	1,997	1,844	3,357	
受取手形	-	-	-	2	
売掛金	1,065	1,118	52	1,019	
連結修正	1,065	1,118	52	1,021	
カゴメグループ	25,708	16,120	9,588	15,569	

たな卸資産

商品・製品	5,036	5,716	680	5,113	
原材料	5,109	5,641	532	5,085	
仕掛品	188	160	28	126	
貯蔵品	171	236	64	178	
カゴメ	10,506	11,755	1,249	10,504	
商品・製品	1,142	464	677	1,185	
原材料	1,904	759	1,145	1,341	
仕掛品	11	632	621	8	
貯蔵品	14	0	14	15	
子会社	3,072	1,856	1,216	2,551	
商品・製品	23	46	22	32	
原材料	41	19	22	17	
仕掛品	-	-	-	-	
貯蔵品	0	-	0	-	
連結修正	65	65	0	50	
カゴメグループ	13,513	13,546	33	13,005	

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

繰延税金資産

カゴメ	894	950	55	691	
子会社	104	88	16	100	
連結修正	20	21	1	3	
カゴメグループ	1,019	1,060	40	795	

その他の流動資産

短期貸付金	1,949	1,970	21	2,130	
前渡金	916	932	16	674	
前払費用	633	1,018	385	595	
未収入金	1,950	3,244	1,293	2,280	
その他	70	121	50	665	
カゴメ	5,520	7,287	1,767	6,345	
短期貸付金	851	550	301	350	
前渡金	-	-	-	-	
前払費用	108	15	92	31	
未収入金	85	67	17	86	
その他	30	13	16	77	
子会社	1,076	647	428	544	
短期貸付金	2,799	2,520	278	2,480	
前渡金	916	925	9	577	
前払費用	-	-	-	-	
未収入金	107	30	76	61	
その他	-	-	-	-	
連結修正	3,822	3,476	346	3,119	
カゴメグループ	2,773	4,458	1,685	3,770	

貸倒引当金

カゴメ	66	20	46	35	
子会社	35	14	21	31	
連結修正	12	11	0	8	
カゴメグループ	89	23	66	58	

メモ欄

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

11 固定資産

カゴメ	42,849	36,898	5,950	41,722	
子会社	17,119	6,408	10,711	17,376	
連結修正	6,746	2,532	4,214	6,726	
カゴメグループ	53,222	40,774	12,448	52,372	

有形固定資産

期首	25,298	23,978	1,319	23,978	
取得	2,178	2,285	107	4,854	
売却	43	132	88	348	
減価償却費	1,678	1,460	217	3,185	
カゴメ	25,754	24,671	1,082	25,298	
期首	15,051	4,559	10,492	15,366	
取得	453	225	227	566	
売却	38	27	11	49	
減価償却費	607	270	337	762	
その他	-	-	-	-	
為替換算調整勘定	0	92	91	69	
子会社	14,858	4,395	10,463	15,051	
期首	39	39	-	39	
取得	5	5	0	5	
売却	5	5	0	5	
減価償却費	-	-	-	-	
連結修正	39	39	-	39	
期首	40,310	28,498	11,811	39,305	
取得	2,626	2,506	119	5,415	
売却	76	154	77	392	
減価償却費	2,286	1,731	555	3,948	
その他	-	-	-	-	
為替換算調整勘定	0	92	91	69	
カゴメグループ	40,573	29,027	11,546	40,310	

無形固定資産

カゴメ	1,309	693	615	1,301	
子会社	161	32	128	167	
連結調整	-	-	-	-	
カゴメグループ	1,470	725	744	1,468	

投資その他の資産

カゴメ	15,780	11,534	4,246	15,123	
子会社	2,105	1,980	125	2,156	
連結調整	6,706	2,492	4,214	6,686	
カゴメグループ	11,179	11,021	157	10,593	

投資有価証券

カゴメ	13,887	9,187	4,700	12,799	
子会社	644	622	22	687	
連結修正	6,294	2,087	4,206	6,294	
カゴメグループ	8,237	7,721	515	7,192	

繰延税金資産

カゴメ	-	414	414	360	
子会社	182	216	34	183	
連結修正	-	-	-	-	
カゴメグループ	182	631	448	543	

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

その他

長期貸付金	-	-	-	7	
長期前払費用	226	190	35	259	
敷金	808	792	15	803	
会員権	412	418	6	411	
保険積立金	468	568	99	505	
その他	152	157	5	148	
カゴメ	2,067	2,127	60	2,136	
長期貸付金	967	956	11	971	
長期前払費用	2	3	0	2	
敷金	214	170	43	190	
会員権	91	28	63	116	
保険積立金	-	-	-	-	
その他	72	4	68	73	
子会社	1,347	1,162	185	1,354	
長期貸付金	-	-	-	-	
長期前払費用	-	-	-	-	
敷金	412	405	7	391	
会員権	-	-	-	-	
保険積立金	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
連結修正	412	405	7	391	
カゴメグループ	3,002	2,885	117	3,100	

貸倒引当金

カゴメ	174	195	21	173	
子会社	69	21	47	69	
連結修正	-	-	-	-	
カゴメグループ	243	216	26	242	

資産合計

カゴメ	101,601	98,771	2,829	90,911	
子会社	25,958	12,217	13,741	25,463	
連結修正	11,668	7,160	4,508	10,905	
カゴメグループ	115,891	103,827	12,063	105,469	

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

負債の部

Ⅰ 流動負債

カゴメ	40,231	37,233	2,997	30,493	
子会社	8,924	6,306	2,618	8,780	
連結修正	4,888	4,595	293	4,141	
カゴメグループ	44,267	38,945	5,322	35,132	

支払手形及び買掛金

支 払 手 形	2,157	2,871	713	3,165	
買 掛 金	10,760	12,995	2,235	10,056	
カゴメ	12,918	15,867	2,948	13,221	
支 払 手 形	697	209	487	806	
買 掛 金	1,741	884	857	1,437	
子会社	2,439	1,093	1,345	2,244	
支 払 手 形	-	-	-	-	
買 掛 金	220	184	35	134	
連結修正	220	184	35	134	
カゴメグループ	15,136	16,776	1,639	15,331	

短期借入金

カゴメ	878	550	328	350	
子会社	2,430	1,970	459	3,149	
連結修正	2,799	2,520	278	2,480	
カゴメグループ	510	-	510	1,019	

未払金

カゴメ	8,636	10,512	1,876	8,446	
子会社	2,429	2,038	391	1,985	
連結修正	946	964	17	946	
カゴメグループ	10,119	11,586	1,467	9,485	

未払法人税等

カゴメ	1,079	813	266	25	
子会社	252	35	216	94	
連結修正	-	-	-	-	
カゴメグループ	1,331	848	483	119	

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

その他

設備関係支払手形	1,186	571	615	761	
未払費用	341	291	49	193	
前受金	8	6	2	3	
預り金	60	127	66	80	
その他	153	132	21	83	
カゴメ	1,750	1,129	620	1,122	
設備関係支払手形	56	2	54	120	
未払費用	45	30	15	263	
前受金	916	925	9	577	
預り金	41	20	20	28	
その他	104	71	32	89	
子会社	1,164	1,050	113	1,080	
設備関係支払手形	5	-	5	2	
未払費用	-	-	-	-	
前受金	916	925	9	577	
預り金	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	
連結修正	922	925	3	580	
カゴメグループ	1,992	1,254	737	1,622	

II 固定負債

カゴメ	17,143	17,489	346	17,504	
子会社	5,300	1,211	4,088	5,369	
連結修正	31	421	453	103	
カゴメグループ	22,474	18,279	4,195	22,976	

転換社債

カゴメ	14,541	14,541	-	14,541	
子会社	-	-	-	-	
連結修正	-	-	-	-	
カゴメグループ	14,541	14,541	-	14,541	

繰延税金負債

カゴメ	94	-	94	-	
子会社	684	158	525	702	
連結修正	16	16	-	16	
カゴメグループ	761	142	619	686	

退職給付引当金

カゴメ	1,446	1,473	26	1,371	
子会社	1,395	283	1,111	1,404	
連結修正	-	-	-	-	
カゴメグループ	2,841	1,757	1,084	2,776	

役員退職慰労引当金

カゴメ	268	332	63	356	
子会社	12	18	6	40	
連結修正	-	-	-	-	
カゴメグループ	281	351	70	397	

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

その他

確定拠出年金移行に伴う未払金	396	816	419	806	
受 入 敷 金	382	294	87	407	
長 期 前 受 収 益	12	30	17	20	
そ の 他	-	-	-	-	
カゴメ	792	1,142	349	1,234	
確定拠出年金移行に伴う未払金	32	65	33	66	
受 入 敷 金	1,009	684	325	988	
長 期 前 受 収 益	-	-	-	-	
そ の 他	2,166	-	2,166	2,166	
子会社	3,208	750	2,458	3,221	
確定拠出年金移行に伴う未払金	-	-	-	-	
受 入 敷 金	412	405	7	391	
長 期 前 受 収 益	-	-	-	-	
そ の 他	-	-	-	-	
連結修正	412	405	7	391	
カゴメグループ	3,588	1,487	2,101	4,064	

負債合計

カゴメ	57,374	54,723	2,651	47,997	
子会社	14,224	7,518	6,706	14,149	
連結修正	4,857	5,016	159	4,037	
カゴメグループ	66,741	57,224	9,517	58,109	

少数株主持分

カゴメ	-	-	-	-	
子会社	-	-	-	-	
連結修正	1,791	-	1,791	1,811	
カゴメグループ	1,791	-	1,791	1,811	

資本の部

I 資本金

カゴメ	4,772	4,772	-	4,772	
子会社	2,420	2,280	140	2,420	
連結修正	2,420	2,280	140	2,420	
カゴメグループ	4,772	4,772	-	4,772	

II 資本剰余金

カゴメ	8,520	8,520	-	8,520	
子会社	22	22	0	22	
連結修正	22	22	0	22	
カゴメグループ	8,520	8,520	-	8,520	

III 利益剰余金

カゴメ	29,546	30,128	582	28,863	
子会社	7,609	2,223	5,386	7,352	
連結修正	4,545	330	4,875	4,622	
カゴメグループ	32,610	32,682	71	31,594	

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

その他有価証券評価差額金

カゴメ	1,396	631	765	765	
子会社	205	198	7	201	
連結修正	6	-	6	6	
カゴメグループ	1,595	829	766	961	

為替換算調整勘定

カゴメ	-	-	-	-	
子会社	382	26	355	541	
連結修正	249	170	420	250	
カゴメグループ	132	197	64	291	

自己株式

カゴメ	9	4	4	8	
子会社	-	-	-	-	
連結修正	-	-	-	-	
カゴメグループ	9	4	4	8	

資本合計

カゴメ	44,226	44,048	178	42,914	
子会社	11,733	4,698	7,035	11,313	
連結修正	8,603	2,143	6,459	8,679	
カゴメグループ	47,357	46,603	754	45,548	

負債、少数株主持分及び資本合計

カゴメ	101,601	98,771	2,829	90,911	
子会社	25,958	12,217	13,741	25,463	
連結修正	11,668	7,160	4,508	10,905	
カゴメグループ	115,891	103,827	12,063	105,469	

メモ欄

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

I 売上高

飲料	3,414	47,004	43,589	77,619	
食品	153	16,559	16,406	35,155	
業務用	461	9,153	9,614	18,345	
生鮮・通販、その他	1,350	2,296	3,646	4,622	
食品セグメント	1,756	75,014	73,257	135,743	
その他	2	105	103	211	
カゴメ	1,759	75,120	73,360	135,954	
飲料	5,876	1,415	7,291	4,531	
食品	1,778	-	1,778	-	
業務用	60	2,128	2,189	4,282	
生鮮・通販、その他	3	50	53	1,012	
食品セグメント	7,718	3,593	11,312	9,826	
その他	128	7,806	7,677	14,370	
子会社	7,589	11,400	18,990	24,197	
飲料	116	415	531	687	
食品	3	3	-	1	
業務用	4	603	598	1,094	
生鮮・通販、その他	94	120	214	263	
食品セグメント	201	1,142	1,344	2,046	
その他	188	6,092	5,904	10,915	
グループ内取引	13	7,235	7,248	12,962	
カゴメグループ	5,816	79,285	85,102	147,189	

II 売上原価

カゴメ	426	34,487	34,914	64,397	
子会社	4,471	10,180	14,652	21,014	
グループ内取引	42	7,700	7,657	13,896	
カゴメグループ	4,941	36,968	41,909	71,515	
(原価率)	(+2.6%)	(+46.6%)	(+49.2%)	(+48.6%)	

III 販売費及び一般管理費

販売手数料	209	2,641	2,431	4,698	
販売促進費	368	16,845	16,476	31,416	
広告宣伝費	130	2,847	2,978	5,377	
運賃・保管料	6	4,324	4,330	7,936	
給料・賃金	184	2,646	2,830	5,293	
その他	432	6,529	6,961	12,725	
カゴメ	175	35,834	36,009	67,448	
販売手数料	84	176	261	331	
販売促進費	1,061	41	1,102	366	
広告宣伝費	76	2	78	12	
運賃・保管料	613	0	613	246	
給料・賃金	341	296	638	734	
その他	557	420	978	997	
子会社	2,735	937	3,673	2,688	
販売手数料	-	-	-	-	
販売促進費	43	135	179	285	
広告宣伝費	10	16	27	35	
運賃・保管料	28	118	90	102	
給料・賃金	26	321	295	591	
その他	10	398	408	737	
グループ内取引	42	448	406	906	
カゴメグループ	2,868	37,220	40,089	71,043	
(販管費率)	(+0.2%)	(+47.0%)	(+47.2%)	(+48.3%)	

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

IV 営業外収益

カゴメ	370	339	30	428	
子会社	188	234	45	470	
グループ内取引	82	148	65	161	
カゴメグループ	475	425	50	737	

受取利息及び配当金

受取利息	3	11	8	20	
有価証券利息	2	6	3	10	
受取配当金	185	183	1	224	
カゴメ	191	201	10	254	
受取利息	22	26	3	63	
有価証券利息	-	0	0	0	
受取配当金	10	15	4	16	
子会社	33	42	9	80	
受取利息	3	7	3	15	
有価証券利息	-	-	-	-	
受取配当金	111	109	1	109	
グループ内取引	114	117	2	124	
カゴメグループ	109	126	17	211	

雑収入

貸借収入	4	7	2	9	
為替差益	-	-	-	-	
その他	84	125	41	143	
カゴメ	88	132	43	152	
貸借収入	0	0	0	0	
為替差益	95	165	70	275	
その他	58	25	32	114	
子会社	154	191	36	390	
貸借収入	-	-	-	-	
為替差益	2	146	144	134	
その他	17	6	10	2	
グループ内取引	19	153	133	136	
カゴメグループ	223	170	53	406	

2003/9期 (百万円)	2002/9期 (百万円)	増減 (百万円)	2003/3期 (百万円)	備考
------------------	------------------	-------------	------------------	----

V 営業外費用

カゴメ	458	576	118	811	
子会社	50	37	13	89	
グループ内取引	6	176	170	171	
カゴメグループ	503	437	65	729	

支払利息

支 払 利 息	0	0	0	1	
社 債 利 息	40	40	-	79	
カゴメ	40	40	0	81	
支 払 利 息	10	15	4	29	
社 債 利 息	0	-	0	1	
子会社	10	15	4	31	
支 払 利 息	3	7	3	15	
社 債 利 息	-	-	-	-	
グループ内取引	3	7	3	15	
カゴメグループ	47	47	0	98	

雑支出

為 替 差 損 益	2	146	144	134	
そ の 他	82	64	18	164	
カゴメ	85	210	125	298	
為 替 差 損 益	0	-	0	-	
そ の 他	15	22	6	57	
子会社	16	22	6	57	
為 替 差 損 益	2	146	144	134	
そ の 他	-	21	21	21	
グループ内取引	2	168	166	156	
カゴメグループ	98	64	34	200	

メモ欄